

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(監査委員)	コード	作成者	役職	監査事務局長
		06-01-20		氏名	川邊 亘
			電話		0869-64-1839

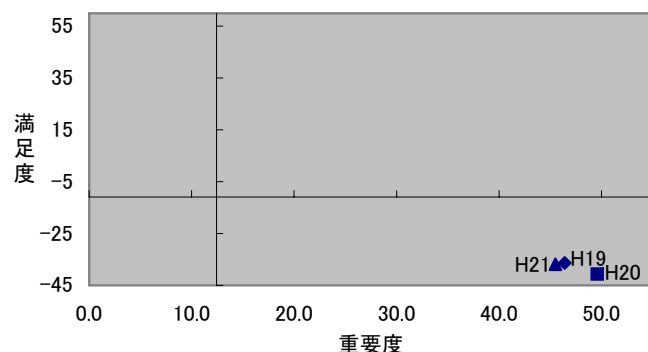
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	公正で合理的かつ能率的な市の行政運営の確保のため、違法、不正の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて監査等を実施し、市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期する。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	地方分権が推進され、行政需要がますます増大、多様化する中で、公正で効率的な行政運営が求められており、行政への信頼の向上を図るうえで、今後、更なる監査体制の強化と機能の充実が必要である。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 法定監査・検査・審査の事務事業の推進 監査結果等の公表

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	46.4	49.6	45.5	
満足度(%)	-36.4	-40.7	-36.8	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
低 ← 重要度 → 高		

調査結果に対するコメント、市民の反応等	地方自治法等に規定されている監査委員制度(業務)であり、今後とも継続して行う必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 定期監査の件数	目標	件	26	26	26	H21	26
	実績	件	26	26	24	H23	37
	達成率	%	100.0	100.0	92.3	H28	37
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 財政援助団体等監査の件数	目標	件	2	2	2	H21	2
	実績	件	2	2	2	H23	2
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	H28	2
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 工事監査の件数	目標	件	2	2	2	H21	2
	実績	件	2	2	2	H23	2
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	H28	2
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 監査委員事務	B	例月現金出納検査業務	法定	248	3,940	0.40	364	4,642	0.47	168	4,097	0.41	☆☆☆☆☆	その他	168
		決算等審査業務	法定	387	3,200	0.35	377	3,461	0.41	370	3,216	0.36	☆☆☆☆☆	その他	371
		定期監査業務	法定	226	2,820	0.30	368	3,119	0.36	489	2,470	0.28	☆☆☆☆☆	その他	492
		財政援助団体等監査業務	法定	120	1,544	0.17	179	772	0.09	138	594	0.07	☆☆☆☆☆	その他	155
		随時監査業務	法定	120	1,656	0.18	179	440	0.05	188	670	0.08	☆☆☆☆☆	その他	189
		全国都市監査委員会負担金	単市	226	264	0.03	60	0	0.00	22	0	0.01	☆☆☆	その他	22
		西日本都市監査委員会負担金	単市	141	264	0.03	3	0	0.00	3	0	0.00	☆☆	その他	3
		中国都市監査委員会負担金	単市	126	264	0.03	0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	人件費のみ	0
		県都市監査委員会負担金	単市	412	940	0.10	315	1,029	0.12	402	1,327	0.15	☆☆☆☆	その他	384
		請求に基づく監査業務	法定	241	3,152	0.32	120	257	0.03	228	1,465	0.17	☆☆☆☆☆	その他	210
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度			平成19年度			平成20年度					計
				2,247	18,044	1.91	1,965	13,720	1.53	2,008	13,839	1.53			1,994

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
市	外部監査の実施	行政需要が複雑多様化する中で、監査機能の充実、強化を図るうえで監査人による外部監査を実施すべきである。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	監査委員制度(業務)は地方自治法等に規定されている。また、監査結果や意見を市政に反映させるうえからも、引き続き、適時的確な監査を行う必要がある。		
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	4	事務事業の構成は、妥当である。		
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	4	公正中立で合理的かつ効率的な行政運営を保障するために必要な施策である。		
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)		行政需要が増大する中で、効率的・効果的な監査業務が実施できるよう、更なる監査手法の検討やフォローアップが必要である。また、市民に対し、監査制度や監査結果等を分かりやすく公表する必要がある。		
二次評価者コメント 役職 氏名		市の健全な行政運営に資するため、定期監査、随時監査等を計画的に実施し、市の行政事務の適法性、効率性、妥当性について検証するとともに、その結果を公表しており、貢献度は高い。本施策の重要性は高いが、厳しい財政状況下での予算編成では枠配分方式がとられており、予算要求にあたって、毎年、経常的経費の徹底した見直しが行われている。しかし、予算減額は限界が生じている。	基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
			4やや高い	平均を上回る配分